



がれきの下敷きになった作業員の救出訓練に臨む宮坂建設の社員ら（28日午前11時10分ごろ、金野和彦撮影）

# まるで本番 がれき救助

3・9 解体訓練  
現場

帯広市西3南9の旧イトヨーカドービルの解体工事現場で28日午前、とちち広域消防局帯広消防署と宮坂建設工業による「合同がれき救助訓練」が行われた。実際にがれきが積み上がった現場で、がれきの撤去から救助、搬送までの流れを確認した。

宮坂建設工業は同ビルの解体工事を担当している。今回は同帯広消防署から、解体工事によるがれきを利用した訓練の要望があった。帯広消防署防課、同社からそれぞれ8人が参加した。訓練は市内で震度7の地震が発生し、解体中の建物が倒壊して作業員が下敷きになった想定で実施。初めに、現場で使用している解体用重機で大きながれきを撤去。消防署員が現地に到着後、同社員と連携してタミーの救助者ががれきの中から助け出し、担架に乗せて車両で搬送した。

帯広消防署防課の酒井将博警防副隊長は「解体工事現場を利用した訓練はなかなかできない。重機を使い合同で訓練できたことは大きなメリットがある」とし、宮坂建設工業の高道伸専務は「今後も要望があればできる限り協力したい」と話した。（中島佑斗）

## 宮坂建設工業と帯広消防署

### がれき救助訓練、合同で

【帯広】宮坂建設工業（本社・帯広）は28日、旧イトヨーカドー帯広店解体の現場で、とちち広域消防局帯広消防署と合同で倒壊事故を想定した救助訓練を行った。安否確認や通報、がれきの除去、救出、搬送といった一連の流れを実際の事故さながらの真剣さで確かめた。

旧イトヨーカドー帯広店解体は帯広市西3・9周辺地区第一種市街地再開発の一環。今回の訓練は震度7の地震が帯広市で発生し、解体中の建物が倒壊して作業員ががれきの下敷きになった想定で行われた。



本番さながらの真剣さで救助訓練した

帯広消防署では以前からこうした訓練ができる現場がないかと同社に打診。宮坂寿文社長が帯広消防団長を務め、毎年地域防災訓練でがれきからの救出訓練を行っていることもあり協力を決めた。

両者から8人ずつが参加。がれきに埋まったタミー人形を使い、スコップで掘り起こしたり解体用重機で大きながれきを取り除くなど手際よく訓練作業を進めた。

帯広消防署の酒井将博警防副隊長は「重機を使ったこうした救助訓練はなかなかできない。貴重な経験をさせてもらった。大規模な災害時に役立つと思う」と成果を語った。宮坂建設工業の高道伸専務は「訓練の場を提供できたことはうれしい。地域の安心と安全を守るため、これからもこうした活動に協力したい」と話していた。

宮坂建設工業等ががれき救助訓練

有事に備え対応を確認

撤去から要救助者搬送まで

【帯広】宮坂建設工業（株）（帯広、宮坂寿文社長）は二十八日、帯広市西三・九周辺地区第一種市街地再開発事業の一環として施工を進める旧イトーヨーカドービル解体工事の現場で、とから広域消防局帯広消防署と「合同がれき救助訓練」を行った。同署から

「撤去から要救助者の搬送に至るまでの一連の手順を確認した。同社では現在、アルファコート帯広西三・九地区開発（株）が発注した同ビルの解体工事を施工中。今回の訓練は、同署からの「解体工事によるがれきを利用した



下敷になっ  
た作業員を迅  
速に救出し  
た

責任者が帯広消防署および同社の災害対策本部へ連絡、到着を待つ間、現場で使用している解体用重機で大規模ながれき、同社職員で小規模ながれきをそれぞれ撤去した。このあと、現場責任者から連絡を受けた消防署員が現地に到着。タミの要救助者をがれきの中から助け出し、担架に乗せてパトロール車にのり搬送した。

「この日は、震度7の大規模地震の発生により、解体中の建物が倒壊して作業員が下敷きになった状況を想定した。はじめに、現場の

「こうした本番ながらの訓練ができる場はなかなかないので、非常にありがたい。今回の訓練を実際の活動に役立てたい」と説明。宮坂建設工業の高道伸専務は「訓練に協力して喜ばれることを我々としてもうれしく思う。今後も向か協力できることがあれば、積極的にやりたい」と話した。